

2016年6月22日

各位

株式会社春帆楼

**ふく料理全国公許第1号割烹旅館「春帆楼」が手がける  
新業態飲食店『Cafe & Dining HARUHORO』が  
2016年6月24日(金)「ホテルJALシティ羽田 東京」内にオープン**

株式会社春帆楼(しゅんぱんろう)(本店:山口県下関市、社長:橋 正)は、2016年6月24日(金)に、春帆楼の新業態『Cafe & Dining HARUHORO』を「ホテルJALシティ羽田 東京」内にオープンいたします。

「春帆楼」は、明治21年、初代総理大臣伊藤博文公が「ふく\*料理」を食したことをきっかけに、日本のふく料理公許第1号の榮譽を担った割烹旅館です。創業以来多くの著名人にご利用いただき、今日に至っています。

このたび「ホテルJALシティ羽田 東京」内にオープンする『Cafe & Dining HARUHORO』は、「春帆楼」が新業態として手がける飲食店です。四季折々の食材をふんだんに利用したカジュアルな多国籍料理をご提供いたします。羽田空港を利用される早朝出発のお客さまのご朝食から、遅い便で到着されるお客さまへのお夜食まで、幅広く対応いたします。

ビュッフェスタイルの朝食は、羽田空港から飛び立つ前に体調を整えていただくため、新鮮野菜、オーガニックティー、スムージーなどヘルシーなメニューをご用意します。ライブキッチンでは日替わりで、オムレツや、海外のお客さまに和を感じていただけるよう、にぎり飯も提供します。心地よい風が吹き抜けるテラス席や開放感のある店内で一日のはじまりをお過ごしください。

ランチは近隣企業や、地域の方にひと時の休息を過ごしていただく場として、お手軽なセットメニュー料理をご用意しています。

ディナータイムは豊富なタパスやカスエラ、ココットの小皿料理が楽しめるダイニングとして、お酒を気軽に楽しめるバーとしてもご利用いただけます。和を感じていただける HARUHORO ならではのメニューもご用意しております。また、2名様から60名様までのパーティを承ります。料理とフリードリンクをセットにしたパーティープランを4,000円(税込み)からご用意しています。



ご宿泊の際のお食事や、ビジネスランチ、歓送迎会など、さまざまなシーンでご利用ください。

※「ふく」…下関では、河豚(ふぐ)を“福”に通じるということで「ふく」と呼びます。

< 本件に関するお問い合わせ >

(株)春帆楼 担当:池田/白川 TEL:03-5211-2940

## ■『Cafe & Dining HARUHORO』について

「HARU」は春・spring・門出・出会い・始まり、「HORO」は全ての(ギリシャ語)を意味しており、全ての方との出会いを大切に、全てのシーンに対応するダイニングレストランとして命名しました。



### <概要>

席数:62席(テラス席14席)

面積:137㎡

営業時間:朝食:4:00-10:00、昼食:11:30-14:00、夕食:18:00-26:00

所在地:東京都大田区羽田旭町4-11 ホテル JAL シティ羽田 東京

電話番号:03-5735-2525

### <料金>

・朝食ビュッフェ 1,836円(税込み)～

・ランチ 1,200円(税込み)～

6月24日(金)～30日(木)はオープン記念メニューのみ

・ディナー アラカルトメニュー 594円(税込み)～



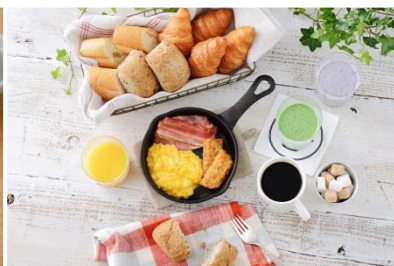
### <メニュー一例>

・ランチセット アンティパスト+メイン or パスタ or カレー+ブレッド or ライス

・ディナーアラカルト イベリコ豚のチョリソー、シラスのアヒージョ、フォアグラとマンゴーのピンチョス、彩り野菜のバーニャカウダ、ウニのトマトクリーム フェディリーニ、和風パスタ、鯛茶漬、国産牛のステーキなど



朝食 和食イメージ



朝食 洋食イメージ



ランチ パスタ

### <OPEN 記念ランチ>

期間:2016年6月24日(金)～6月30日(木)

料金:1,000円～(税込み)

## 春帆楼の概要

「春帆楼」は、1888年、伊藤博文公が「ふく料理」を「春帆楼 下関本店」で食したことをきっかけに、日本のふく料理公許第1号の栄誉を担いました。1895年には日清戦争の講和談判会場となり、その名は全国に知られるようになりました。以降、山口下関の迎賓館として今日に至っています。

【サービス】 ふく料理・日本料理などのレストラン展開  
宿泊・宴会・ブライダル・ふく料理セットの宅配・PB商品の展開(本店のみ)

【経営】 株式会社春帆楼（オリックス不動産株式会社 100%出資）

## 【店舗一覧】

### 「下関春帆楼」本店

住 所	山口県下関市阿弥陀寺町4-2
連絡先	TEL 083-223-7181 / FAX 083-232-7980

### 「下関春帆楼」東京店

住 所	東京都千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル内
連絡先	TEL.03-5211-2941 / FAX.03-5211-2943

## <百貨店でのレストラン展開>

### 「下関春帆楼」阿倍野店

住 所	大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 あべのハルカス近鉄本店タワー館 14階
連絡先	TEL 06-6625-2378 / FAX 06-6623-1692

### 「下関春帆楼」名古屋店

住 所	愛知県名古屋市中区栄 3-16-1 松坂屋名古屋支店南館 10階
連絡先	TEL 052-264-3828 / FAX 052-262-6330

### 「下関春帆楼」難波店

住 所	大阪府大阪市中央区難波 5-1-18 高島屋大阪店 なんばダイニングメゾン 9階
連絡先	TEL&FAX 06-6633-3629

### 「春帆楼茶寮」下関大丸店

住 所	山口県下関市竹崎町 4-4-10 下関大丸 7階
連絡先	TEL 083-235-8029 / FAX 083-235-8029

## <ホテル内>

### 日本料理・ふく料理「三田春帆楼」

住 所	兵庫県三田市けやき台1-11-2 三田ホテル内 2階レストランフロア
連絡先	TEL 079-564-1101 / FAX 079-564-1107

### 「春帆楼」広島店

住 所	広島県広島市中区銀山町 10-17 ヴィアイン広島銀山町
連絡先	TEL 082-246-4999 / FAX 082-245-2300

## <デパ地下食品街>

### 「下関春帆楼」日本橋高島屋店

住 所	東京都中央区日本橋2-4-1 日本橋高島屋地下1階
連絡先	TEL&FAX 03-3272-1029

## <その他>

### 「三宜楼茶寮」

住 所	福岡県北九州市門司区清滝3-6-8
連絡先	TEL&FAX 093-321-2651

## ◆参考資料◆～春帆楼の歴史～

### 【伊藤博文公との深い縁】

豊前中津奥平藩の御殿医であった藤野玄洋が、現在春帆楼がある下関市阿弥陀町の地に明治10年月波楼医院として開業したのが春帆楼の前身です。その後、明治14～15年頃に藤野玄洋の妻ミチが、医院を接客用に改装し、中津から奉公人等を集め、料理店兼客館の営業を開始しました。「春帆楼」という屋号は、春畝という雅号を持つ伊藤博文公が、春うららかな海の帆船を心に描いて命名しました。

### 【ふく料理公許第一号店】

日本では、縄文時代からふくを食べる習慣がありました。しかし、安土桃山時代になり、豊臣秀吉が朝鮮出兵した文禄・慶長の役(1592～1598)の際、攻略の要であった下関で武士達がふくを食べて相次いで死亡したことから、豊臣秀吉が「河豚食用禁止の令」を發布、ふく食は禁止されてしまいました。

長らく禁止されていたふく食を復活させたのは、初代総理大臣・伊藤博文公でした。今から120年前の1888年(明治21年)、伊藤博文が、春帆楼に立ち寄った際、海が時化(シケ)続きで魚がまるで捕れず、困り果てた女将は、手討ち覚悟で止むを得ずふくを御前に出しました。伊藤博文公はこの旨さに驚き「一身よく百味の相をととのえ」と絶賛されました。そして翌年、「調理さえ心がければ」との条件つきで禁令を解き、それ以来、春帆楼は「ふく公許一号の店」として、広く知られるようになりました。



春帆楼本店外観

### 【日清講和条約(下関条約)締結の地】

1895年(明治28年)3月、日清講和条約の会場選びは、長崎、広島など幾つかの候補地があげられていましたが、伊藤博文公が「下関の春帆楼で」と発表し決定。世界の外交史に名を連ねる日清講和条約(下関条約)は、当時の春帆楼2階の大広間で開催されました。こうして春帆楼は、世界史に名を残し、明治・大正期を通じて皇族や多くの政財官界要人、内外の頭官貴賓が足を運び、鉄道唱歌(九州山陽30番)の歌詞(「♪世界にその名いと高き馬関条約結びたる春帆楼の跡とひて昔しのぶもおもしろや」)や、司馬遼太郎の小説「竜馬がゆく」の文中でも紹介されるなど、下関の迎賓館として、各界著名人に愛されています。